

5月27日（木）滋賀大学教職大学院を訪問しました！

## 対談テーマ

### 滋賀の教育を支える人材の育成について

高度な教員養成に取り組まれている滋賀大学教職大学院を訪問し、大学側から見た教員確保の課題、滋賀の学校現場において優秀な教員の確保を図るための取組についてお話を伺いました。

## 訪問した委員

土井 真一 委員    岡崎 正彦 委員    窪田 知子 委員    石井 太 委員

## 滋賀大学教職大学院について

滋賀大学教職大学院は、社会の変化や諸課題に対応する高度な専門性と豊かな人間性・社会性を備えた力量ある教員の養成を目指しています。学校経営力開発コース、教育実践力開発コースに加え、令和3年度からは、授業実践力開発コース、ダイバーシティ教育力開発コースを創設し、現職教員学生、学部新卒学生のキャリアステージに対応した4つのコースの体制で教員の養成を進めています。



## 意見交換より

### 【大学教員との意見交換】

委員：教職大学院で学ぶにあたって、教員として学校現場に出てからの場合、大学から進学する場合、それぞれの利点を聞かせてください。  
大学教員：現場を経験してからだと、課題意識が高く、学習目的が明確な状態で学ぶことができます。新卒学生は、大学のカリキュラムや教育実習では学べなかったことを、2年間の継続的なカリキュラムを通して学ぶことがメリットです。



### 【現職教員学生との意見交換】

委員：教職大学院ではどのような学びをされていますか。  
教員学生：現場にどう生かすか考えながら学んでいます。今まで実践してきたことと理論がつながり、自信になってきています。  
委員：学校現場でどんなことを変えていかなければいけないと思いますか。  
教員学生：様々な経験年数の教員が共に学び合える機会を作ることができればよいと思います。

### 【学部新卒学生との意見交換】

委員：大学院での学びはhowですか。  
新卒学生：実習が多く、大学や教育実習では見えていなかったことが学べています。  
新卒学生：現職教員学生の方と共に学ぶことで、現場の実情を教えてもらえたり、体験的な学びになったりしています。